

御代田町長 小園 拓志 様

御代田町議会議長 荻原謙一
(所管：総務福祉文教常任委員会)

住民の防災意識向上に関する要望書

1. 要望の趣旨

御代田町は、活火山である浅間山を有し、火山災害が最大の防災上の課題となっています。加えて、近年の気候変動による令和 6 年 8 月 7 日のような局地的豪雨、さらには南海トラフ巨大地震の被害想定も見直され、当町では震度 5 強クラスの地震被害が示されました。このような中、町民の命を守るために災害発生時の迅速かつ適切な対応をとるための体制強化が求められています。

このような状況を踏まえ、総務福祉文教常任委員会では「防災・減災対策」を所管事務調査項目に選定し、令和 6 年 2 月より調査研究を進めてきました。

防災・減災を討議するなかで、住民一人ひとりの防災意識向上と共助の基となる住民のつながりが地域の防災力を高める重要な要素であることと改めて認識に至りました。

そして、町と住民が一体となって、より安全で災害に強い地域社会の構築に向けた取組を推進していただくよう議会の立場から下記のとおり強く要望いたします。

2. 要望内容

(1) 実効性の高い防災訓練の実施

- 地震、洪水、土砂災害など、地域特有の災害リスクを考慮した現実的な訓練の実施を要望する。
- 自治体、住民、消防、警察、自衛隊、医療機関など多機関連携による総合訓練の強化を求める。
- 高齢者や障がい者を含む、住民が主体的に参加できる防災訓練の推進と実施を要望する。
- 訓練後の評価と改善を行い、実効性を高める仕組みの構築を求める。

(2) 自主防災組織の立ち上げと強化

- 町内の未組織地区における自主防災組織の新規立ち上げを促進するため、町の支援体制を強化することを要望する。
- 既存の自主防災組織の活動強化のため、必要な財政支援や研修の実施を求める。

(3) 防災教育および意識啓発の推進

- 学校教育における防災教育の充実と、地域住民向けの防災講座の定期的な開催を要望する。
- 防災運動会や避難所宿泊体験など、住民参加型の防災イベントの開催を推進することを求める。

(4) 要支援者名簿の作成と情報共有

- 要支援者名簿を作成し、本人の同意を得た上で自主防災組織や関係機関と情報を共有できる体制の整備を要望する。
- 名簿には、氏名、住所、連絡先、支援の必要な内容を明記し、定期的な更新を行うことを求める。

(5) 防災弱者への支援体制の強化

- 避難支援計画の策定と個別支援計画の導入を進めることを要望する。
- バリアフリー避難所の設置および環境整備を推進し、全ての住民が安心して避難できる体制を求める。
- 外国人住民への多言語対応の防災情報提供の充実を図ることを求める。
- 福祉避難所の更なる設置と運営体制の整備を要望する。